

## 温泉観光とパンダの町・白浜町を核のゴミの捨て場にしないよう 使用済核燃料の中間貯蔵施設は受け入れないとの意思をあらかじめはっきり と表明してください

白浜町は温泉・観光とパンダの町として広く全国に知られています。日置川原発の立地を拒否した町としても知られています。そこに、実質的に永久的な核のゴミ捨て場となる中間貯蔵施設がつくられる可能性が浮上しています。そのことに、私たちは強い危惧を抱いています。

関西電力は昨年11月、福井県知事に対し原発の使用済燃料の貯蔵所を福井県外につくること、今年12月までにその計画地点を公表することを約束しました。白浜町日置川周辺では関西電力が海岸に近い土地をすでに買い占めていると言われ、現地駐在員もいろいろな動きを示していることから、計画地点となる可能性が高いと考えられます。

町内の土地がけっして候補地とならないよう、町長として拒否する姿勢である意思を、事前にはっきりと示してくださるよう要望します。

日置川地域は、かつて原発設置問題が浮上して、賛否をめぐって町は二分され、長年対立が続いてきました。親子兄弟までが敵味方になるという悲劇を繰り返してはなりません。

現在、核燃料サイクルはもんじゅの廃炉などによって実質的に破たんしています。本来中間貯蔵施設から搬出されるはずであった第2再処理工場は影も形も見えません。50年程度の中間貯蔵を終えた頃に六ヶ所再処理工場が存在するという保証もありません。その結果再処理ができなければ、原発の使用済燃料は「リサイクル燃料」ではなく、ただの核ゴミと化してしまいます。中間貯蔵施設は永久的な核のゴミ捨て場となり、子々孫々に深刻な負担を押し付けることとなります。

### 1. 使用済燃料の貯蔵期間は法的に定められていない上、貯蔵後の行き先がありません

使用済燃料を何年貯蔵するのかは法的に決められていません。むつ市の中間貯蔵施設のように50年としても、変更申請によって伸ばすことができることを原子力規制庁は認めています。

肝心の貯蔵終了後の具体的な搬出先施設は見えていません。すなわち、そこが永久的な核ゴミの墓場とならないという保証は何もないのです。高浜原発28基分という膨大な危険な核のゴミが子や孫に残されているのでしょうか。

### 2. 南海トラフの巨大な地震や津波による危険性があります

南海トラフ地震は今後30年間に70～80%の確率で起こるとされており、貯蔵期間中に起こるものと考えする必要があります。白浜町辺りは震度7となり、津波は高さ約20mと予測されています。

地震によって建屋が倒れたり歪んだりすると、空冷式の冷却が損なわれる恐れがあります。使用済燃料が出し続ける熱でキャスク(容器)が破損し放射能が放出される危険があります。長期間にわたる劣化と地震動でキャスク内のバスケット(仕切り板)が崩れて臨界事故が起こる危険性もあります。

このような考えから、以下の点を要望します。

## 要望事項

使用済核燃料の中間貯蔵施設を白浜町は、けっして受け入れないという意思を、早急に表明してください。

白浜町長 井潤 誠 様

2018年2月23日

### 団体名

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1、脱原発わかやま             | (代表 冷水 喜久夫)          |
| 2、やめよら原発・NO核熊野の会      | (代表 阪口 淑子)           |
| 3、つゆくさと大地の会           | (代表 奥野 佳世)           |
| 4、原発がこわい女たちの会         | (代表 松浦 雅代)           |
| 5、こどもたちの未来と被ばくを考える会   | (代表 芝野絢子・松永久視子・松浦雅代) |
| 6、にんにこ被災者支援ネットワーク・和歌山 | (代表 富士原 史香)          |
| 7、上岩出診療所              | (代表 山崎 知行)           |
| 8、9条ママnetキュツと         | (代表 笠松 美奈)           |

連絡先 脱原発わかやま  
代 表 冷水 喜久夫  
連絡先 白浜町大古132  
電 話 0739-52-3272